



おにはーそとー！ (やすづか保育園節分会)

4月から

資源ごみの収集をはじめます

町では、ごみの再資源化、減量を進めるため、4月1日から「資源ごみ」(新聞紙、雑誌類、ダンボール、ボール紙、紙パック、ペットボトル、発泡スチロール(食品容器、トレー、魚箱、家電包装材など)

うえ、ごみの分別収集にご協力をお願いいたします。

新聞紙、雑誌類、ダンボール、ボール紙、布類、紙パック、ペットボトル、発泡スチロール)の収集を開始します。3月に、ごみの分け方・出し方および収集日の一覧表を配布しますので、よくご覧の

収集日 週1回
 収集場所 もえるごみのステーション
 問合せ先

町清掃センター
 町保健課環境公害係
 ☎ 8213424
 ☎ 811834

ごみの分け方・出し方

新聞紙、雑誌類(チラシを含む)、布類、ダンボール、ボール紙、紙パック、ペットボトル、発泡スチロール(食品容器、トレー、魚箱、家電包装材など)

出すときの注意

新聞は、新聞紙とチラシを別々にして、十文字に結束して出してください。

雑誌類、ダンボールは、十文字に結束して出してください。

ボール紙の容器類(化粧箱等)は開いてから十文字に結束して出してください。

布類はひもできちんと結束するか、ポリ袋に入れて出してください。

紙パックは、開いてよく洗浄し、乾燥してから結束して出してください。

ペットボトルは、キャップとラベルをはずし水洗いをし、つぶしてからポリ袋に入れて出してください。

発泡スチロール(食品容器、トレー等)はよく洗浄し、乾燥してからポリ袋に入れて出してください。

大きいものは結束して出してください。

新聞紙



ダンボール



ペットボトル



布類



新清掃センター

4月から運転



◀ 現在試運転中の清掃センター(厚生年金・国民年金積立金還元融資施設)

施設の概要

処理量

70^ト／日、

排水処理設備

無放流方式(クローズド システム)

余熱利用設備

施設内の給湯、暖房、隣接施設への給湯



火入れ式(1月14日)

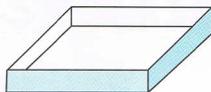
もえる ごみ



生ごみ



紙くず



プラスチックトレイ



プラスチック容器

生ごみ、紙くず、プラスチックパック、トレイ、容器、紙おむつ、ビデオテープ、カセットテープ、くつなど

出すときの注意

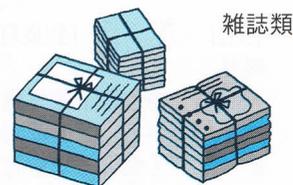
生ごみはよく水をきり、ポリ袋などに入れ袋の口をしぼって出してください。

紙くず、プラスチックパック、トレイなどは、ポリ袋に入れて出してください。

木くず、板くず、木の枝などは60^{センチ}以下に切り、ひもでしっかり結び束にして、直径20^{センチ}以下にして出してください。

資源ごみ

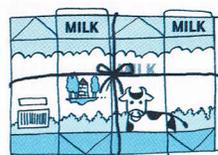
(4月から収集開始)



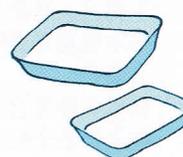
雑誌類



ボール紙



牛乳パック



発泡スチロールトレイ

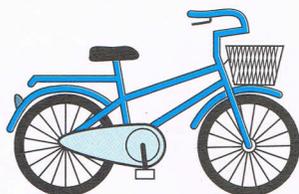
もえない ごみ



金属類



アルミ缶・スチール缶



自転車

金属類、スプレー缶、スチール缶、アルミ缶、こうもり傘、ふとん、電気器具類、机、いす、カーペット、タンス、一斗缶、石油ストーブ、自転車、電球、蛍光灯、乾電池など

出すときの注意

スプレー缶は、爆発防止のため穴を開け、ガスを抜いてから出してください。

食品等の入っていた缶は、中をかるく水洗いをしてから出してください。

缶類、電球、蛍光灯などは、丈夫な袋に入れて出してください。

ガラス ビン類



ビールビン・ジュースのビン

ビールビン、ジュースビン、酒ビン、洋酒ビン、清涼飲料水のビン、食品類のビン、油用のビン、化粧・薬品のビン、割れビン、不要のガラスなど

出すときの注意

ビン類はキャップをはずし、中をかるく水洗いをしてから、丈夫な袋かケースに入れて出してください。

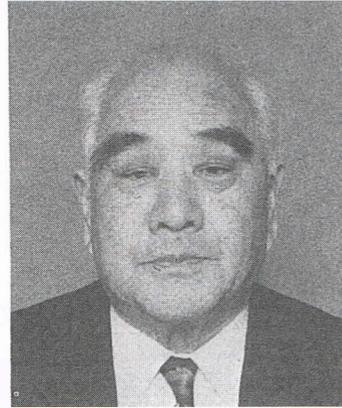
ガラス類は、丈夫な袋に入れて出してください。

横山 茂氏 勲六等单光旭日章 小田垣英一郎氏 黄綬褒章 を受章

横山 茂 氏 (駅東町 8 - 5)

略歴

- 昭45年 栃木県下都賀漁業協同組合専務理事
- 昭49年 宇都宮家庭裁判所調停委員
- 昭51年 壬生町選挙管理委員会委員長
- 〃 栃木県内水面漁場管理委員
- 昭57年 県養殖漁業協同組合理長
- 〃 県漁業協同組合連合会副会長
- 昭59年 宇都宮地方裁判所調停委員
- 平 2 年 栃木県公害対策審議委員
- 平 3 年 栃木県下都賀漁業協同組合理長



横山 茂氏

小田垣英一郎氏 (中央町 11 - 24)

北関酒造株式会社代表取締役会長
小田垣酒造株式会社代表取締役社長
小田垣商事株式会社代表取締役社長

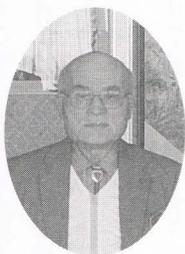
略歴

- 昭51年 宇都宮地方裁判所調停委員
- 昭56年 栃木ロータリークラブ会長
- 昭57年 行政相談委員
- 〃 栃木県公害モニター
- 昭59年 宇都宮家庭裁判所調停委員
- 昭62年 栃木税務署管内国税モニター栃ノ木
会会長
- 平元年 栃木税務署管内間税会会長
- 平 2 年 栃木県酒造組合栃木支部長
- 平 3 年 栃木県酒造組合会長
- 〃 栃木県食品工業協会副会長



小田垣英一郎氏

昨年の叙勲で、長きにわたる地域社会の振興・発展への功績が認められ、横山 茂氏が勲六等单光旭日章を、小田垣英一郎氏が黄綬褒章を受章しました。



高橋政夫氏



高木辰雄氏

ゲートボールの普及・発展に尽力
高木氏、高橋氏が功労賞受賞

日本ゲートボール連合より、高木辰雄氏(本郷)が健康功労賞、高橋政夫氏(城内)が審判員功労賞を受賞しました。
高木氏は、町ゲートボール協会発足に尽力、平成6〜8年度に同協会長を務め、現名誉会長。高橋氏は、町内では早くから1級審判員の資格を取得、現在は審判員の養成にあっています。



坂田佐一郎氏
(稲葉下馬木)

交通栄誉賞
「緑十字銀章」を受章

(財)全日本交通安全協会などが主催する、第39回交通安全全国国民運動中央大会(1月13日・東京日比谷公会堂)で、町交通安全協会長の坂田佐一郎氏(稲葉下馬木)が、交通栄誉章「緑十字銀章」を受章しました。これは、多年にわたる交通安全への尽力、交通事故の防止と交通秩序の確立に対する功績が認められたものです。

育藤さんら5名が最優秀賞に

「人権の集い」でポスター・作文入賞者を表彰

町と町教育委員会主催の「人権の集い」が11月27日、壬生中央公民館で開かれ、町内小・中学校の児童・生徒から募集した人権啓発ポスター・作文の入賞者の表彰が行われました。

小学生の部

☆最優秀賞

齋藤 秋 (睦小5年)

☆優秀賞

中田 敬祥 (壬生小6年)

石黒 ひとみ (壬生小6年)

白石 瑛子 (壬生小6年)

鯉沼 孝彰 (壬生小6年)

山田 恵理 (壬生東小5年)

武藤 卓也 (壬生東小6年)

長 香織 (安塚小6年)

☆佳作

大島美香・鈴木彩 (壬生小5年)

井田由美・渡辺佳美・河野有美 (壬生小6年)、山川式哉 (藤小5年)、手塚美樹・青木美緒・秋田恵里・小野奈保子 (壬生東小5年)、田中麻紀・内藤藍・武藤亜耶・鈴木希望 (壬生東小6年)、早乙女歩・鈴木麻

最後に、とちぎ民俗文化研究所長尾島利雄氏から「愛と勇気と決断と」と題する講演がありました。なお、入賞者は次の通りです。

東小6年)、早乙女歩・鈴木麻

希・高久裕紀・神永淳美・篠崎由実・小林孝(稲葉小5年)小倉伸吾・梁島論・高木久美子・入江有紀(稲葉小6年)、落合伸浩・神永真代・丸山真緒・神永友理(羽生田小5年)、赤羽根寿幸・山口智・木野内博之・神永真希(羽生田小6年)弓田智春(壬生北小5年)、小林美穂・高津戸望・渡邊直子(壬生北小6年)、小林直樹鈴木隆昭・佐藤恵理・中島綾香(安塚小5年)、中川歩・月井かおり・大久保嘉子・大久保雄貴・矢菅奈津美(安塚小6年)福井歩笑・田中沙奈枝・川村梨沙・岸亜由夢(睦小5年)大貫史貴・芹澤友里絵・斎藤聖良・中村大海・伊東晃(睦小6年)

中学生の部

☆最優秀賞

福島 由佳 (壬生中2年)

☆優秀賞

賀川 隆洋 (壬生中1年)

中田 仁美 (壬生中2年)

早乙女 真弓 (壬生中2年)

五十嵐 純子 (南犬飼中3年)

☆佳作

村上恵理 (壬生中1年)・阿久津裕子・片山ますみ (壬生中2年)、岩崎秀平・神永芳恵・福田仁美 (壬生中3年)

☆優秀賞

中島 史絵 (壬生小4年)

宇賀神 浩康 (壬生小6年)

齋藤 エリ (藤井小4年)

篠崎 佳樹 (藤井小5年)

武関 杏奈 (藤井小6年)

山口 なゆ (壬生東小4年)

小野口 淳 (壬生東小5年)

小平 紀代美 (壬生東小6年)

篠崎 由実 (稲葉小5年)

鈴木 麻希 (稲葉小5年)

早乙女 歩 (稲葉小5年)

高久 実穂 (稲葉小6年)

神永 晴代 (稲葉小6年)

高山 真梨恵 (羽生田小5年)

落合 友香 (羽生田小6年)

木村 早央里 (壬生北小4年)

大垣 好 (壬生北小5年)

渡邊 渉子 (壬生北小6年)

柏倉 亜美 (安塚小5年)

長 香織 (安塚小6年)

小林 恵利香 (安塚小6年)

黒川 敦子 (睦小5年)

瀬川 智広 (睦小6年)

中学生の部

☆最優秀賞

大橋 正 (南犬飼中1年)

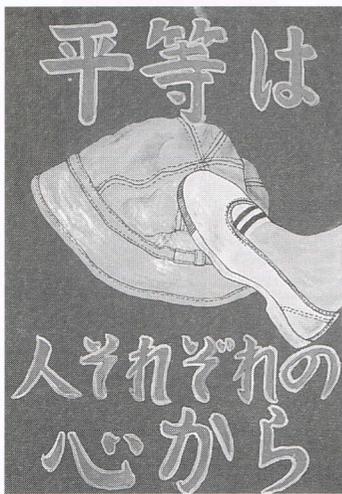
☆優秀賞

横倉 香織 (南犬飼中1年)

幸村 友子 (南犬飼中2年)

芝田 江美 (南犬飼中3年)

木村 円科 (南犬飼中3年)



ポスター小学生の部最優秀賞
睦小5年齋藤秋さんの作品



ポスター中学生の部最優秀賞
壬生中2年福島由佳さんの作品

小学校高学年の部

☆最優秀賞

石川 なつき (睦小6年)

増山 裕美 (睦小3年)

吉田 雄飛 (睦小2年)

石山 恵美 (安塚小3年)

藤田 梓 (安塚小1年)

山野井 淳美 (壬生北小3年)

森田 泰幸 (壬生北小2年)

加藤 綾恵 (羽生田小1年)

大栗 千佳 (壬生東小3年)

星野 芽衣 (藤井小3年)

椎名 真人 (藤井小2年)

小菅 陽美 (壬生小3年)

山田 和希 (壬生東小1年)

田中 仁美 (壬生中2年)

賀川 隆洋 (壬生中1年)

中田 仁美 (壬生中2年)

早乙女 真弓 (壬生中2年)

五十嵐 純子 (南犬飼中3年)

村上恵理 (壬生中1年)

阿久津裕子 (壬生中2年)

岩崎秀平 (壬生中2年)

神永芳恵 (壬生中2年)

福田仁美 (壬生中3年)

津裕子 (壬生中2年)

片山ますみ (壬生中2年)

高久 実穂 (稲葉小6年)

神永 晴代 (稲葉小6年)

高山 真梨恵 (羽生田小5年)

落合 友香 (羽生田小6年)

木村 早央里 (壬生北小4年)

大垣 好 (壬生北小5年)

渡邊 渉子 (壬生北小6年)

柏倉 亜美 (安塚小5年)

長 香織 (安塚小6年)

小林 恵利香 (安塚小6年)

黒川 敦子 (睦小5年)

瀬川 智広 (睦小6年)

山野井 淳美 (壬生北小3年)

藤田 梓 (安塚小1年)

石山 恵美 (安塚小3年)

吉田 雄飛 (睦小2年)

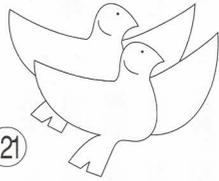
増山 裕美 (睦小3年)

石川 なつき (睦小6年)

い 広 場

お達者

カップル¹²¹



壬生下馬木

葭葉 六一さん(80)
キミさん(75)

夫妻



青
春
ス
ケ
ッ
チ
93



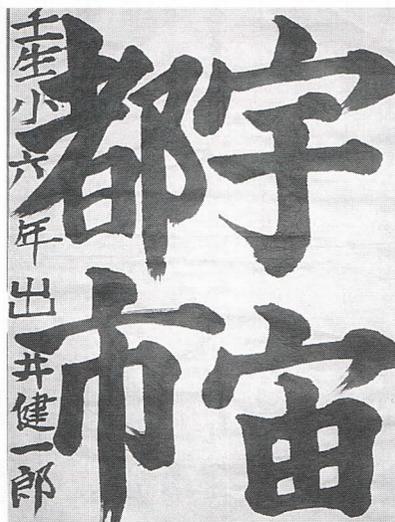
大きな犬を飼ってみたい

緑町三丁目 ^{かんげ} 管家 真理さん

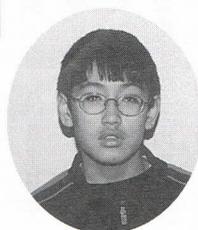
旅行と音楽鑑賞が趣味という真理さん。

今までの旅行で印象に残ったことは「名古屋の青空がきれいだったこと」だそうです。また、音楽はユーロビートをよく聴きます。

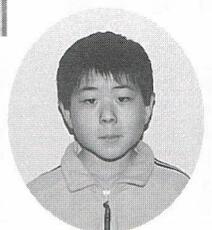
犬好きの真理さんの夢は、「大きな犬を飼うこと」です。



壬生小学校 6年
出井 健一郎



壬生小学校 5年
小藤 翔平



私の作品

あられふ

現在、葭葉六一さん・キミさんご夫妻は長男夫妻、お孫さんと5人で暮らしています。

大正7年生生まれの六一さんは、壬生尋常高等小学校を卒業し、青年学校へ進みました。大正13年生まれの子ミさんは、南大飼尋常高等小学校を卒業した後、実家の農業の手伝いをしていました。

お二人は昭和20年に結婚し、以来、農業ひとすじに歩んできました。その間、六一さんは農協役員や農業委員、自治会長などをつとめました。

米作りは、ご長男があとを継ぎ

ましたが、野菜作りの方は、今もふたりで行なっています。

六一さんは、農作業の合間に趣味の盆栽を楽しんでいます。キミさんは、老人会の旅行を楽しみにしています。また、テレビ番組は野球、相撲、時代劇をよく見ます。「健康のためには、体を動かすことと好き嫌いをなく食べることが大切」という元気なお二人です。



小中学生書き初めコンクール

第一回書き初めコンクールの出展作品が、町生涯学習館に1月20日から24日まで展示され、講座などで訪れた人々も足を止めて見入っていました。町内小中学校から1,092点の応募があり、185名が表彰されました。上位入賞者は次の通りです。

- 小学3年 福田成美 (壬生小)
- 小学4年 川和敬裕 (壬生東小)
- 小学5年 山野井由佳 (壬生北小)
- 小学6年 田中郁江 (稲葉小)
- 中学1年 赤羽根良美 (壬生中)
- 中学2年 須藤美紀 (壬生中)
- 中学3年 館野知浩 (壬生中)



壬生中学校3年
根津 照美さん

表彰(敬称略)
町長賞 根津照美 (壬生中3年)
教育長賞



プランターを寄贈

大平町の大島勝一郎氏から、町にプランター1,000個が寄贈されました。

大島氏の経営する会社ではプランターなどを製造しており、壬生に営業所を持つことから馴染みが深く、以前にも寄贈をいただいたことがあります。

今回寄贈されたプランターは町内の小・中学校に配られ、子どもたちの手できれいな花が植えられました。



パンジーの苗を植える(壬生中)



華やかな門出 第50回成人式

第50回壬生町成人式が中央公民館で行われ、式場は、久しぶりに会う友人との旧交を温めあう新成人たちの姿で華やきました。

式典では、来賓祝辞に続き、新成人代表の大垣智一さんが新成人の抱負を述べました。

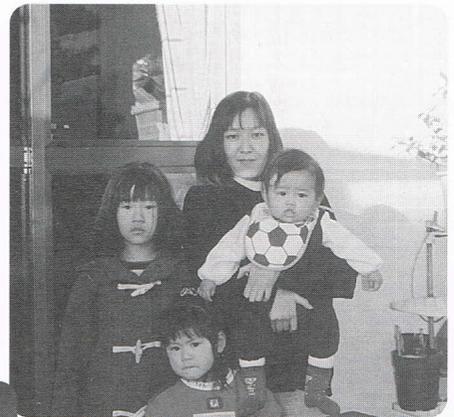
今年は男性 301名、女性 332名の計 633名が成人の仲間入りをしました。

「すこやかベビー」あつまれ

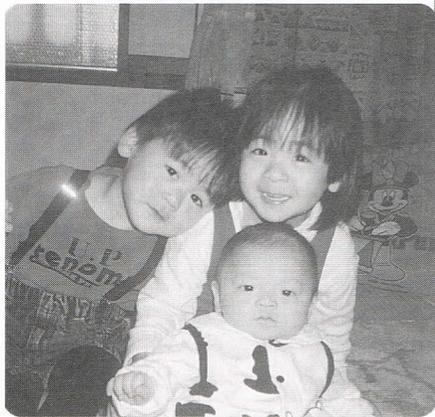
町では、第3子以上の児童を養育している方に「すこやか子育て支援金」(平成9年4月開始)を交付しています。

この制度をご利用いただいた“すこやかベビー・ご家族”をご紹介します。

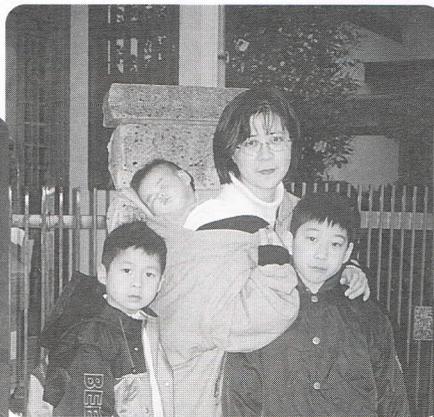
※支援金の需給要件、申請方法等については…
町福祉課児童福祉係 ☎81-1831



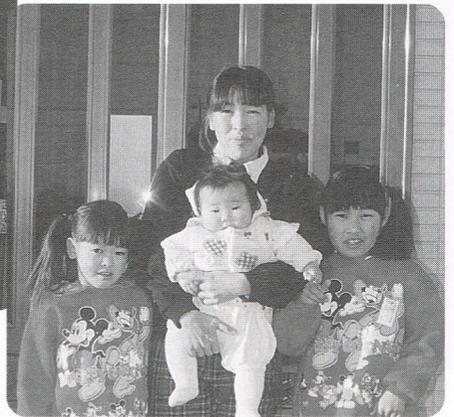
和久井 匠ちゃん親子 (本丸)



鈴木 克昌ちゃん兄弟 (駅東町)



山上 和ちゃん親子 (駅東町)



佐藤 里菜ちゃん親子 (下稲葉)

資料館コーナー

郷土の人々 (最終回)

友平 栄 (ともひら さかえ)

下野西洋兵学の導入者・壬生藩士

1816年(文化6) ~ 1882年(明治15)

反射炉や品川台場の建設で知られる江川英龍(太郎左衛門・坦庵)は、西洋式軍隊を日本に確立した人物です。

その門人は四、〇〇〇余りといわれていますが、没後の門人を含めた数であり、直接教えを受けた者は三百人未満です。このうちの誰が高弟かなどは知られていません。老中阿部正弘など大名は論外で、木戸孝允などは末弟の部類です。高弟とは、一瀬大蔵(会津)、前田藤九郎(備後福山)、星野寛兵衛(陸奥泉)、岩倉鉄三郎(川越)、友平栄(下野壬生)などをいいます。このうち、友平栄との交流は特にあついたものがありました。



友平 栄

幕府はペリー来航後、芝新銭座に江川氏の調練場をつくり、旗本を洋式陸軍に編成替えしようとしてきました。ここには、諸藩士も入門し盛況でありました。友平はこの教育にあたり、尊敬を集めました。教え子たちは戊辰戦争で敵味方に分かれましたが、維新後は薩摩・長州から請われ、陸軍大佐として

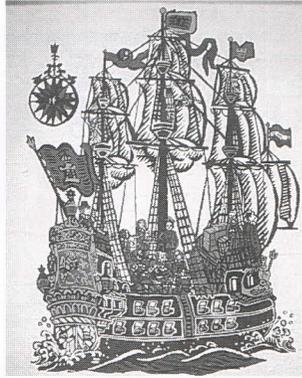
その後、この五名の先人たちは小学校副読本『のびゆく壬生町』に掲載され、学校教育のなかで普及啓蒙をされることになっていきます。

合同で作品を展示

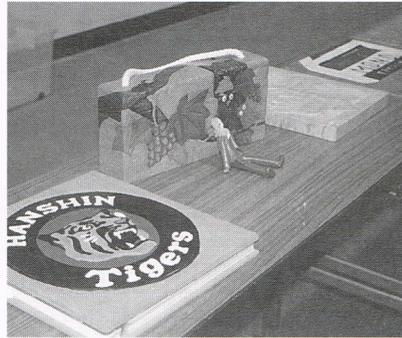
町中学校美術展

壬生中学校、南犬飼中学校が合同で創作活動の成果を披露する、町中学校美術展が1月9日・10日の両日、壬生中央公民館で行われました。

会場には、水彩画や手工芸、共同制作の作品など、各校で選ばれた作品約50点が展示されました。



川上澄生作「南蛮船図」より
牛乳パック再生紙を貼り合わせて制作した作品



さつま町手工芸品

介護保険制度の説明会開く

仲通町公民館で1月29日、町執行部、福祉担当職員などが出席し、介護保険制度の説明会が開かれました。

来年(平成12年)の4月から、各市町村が運営主体となりスタートする介護保険制度について、その仕組みや利用方法への理解を深めようと、仲通町・上通町・方町・上新町から約70名が参加して行われました。



福和田おおみそかフェスティバル お囃子の共演



福和田地区ふるさとルネッサンス推進委員会では約150名が参加し、12月31日に福和田神明宮で「福和田地区おおみそかフェスティバル」を行いました。

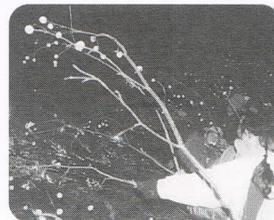
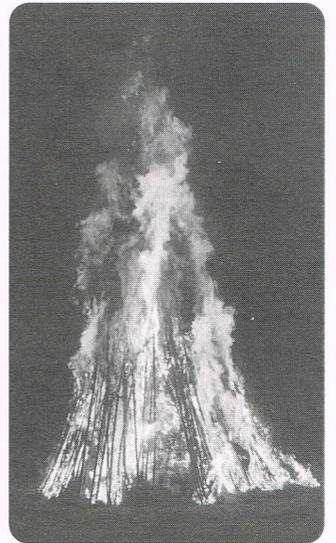
甘酒などがふるまわれた会場では、福和田、鯉沼両地区の五段囃子保存会によるお囃子の共演が行われ、聴衆の喝采を浴びていました。

羽生田地区の伝統行事

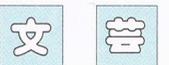
どんど焼き

羽生田地区ふるさとルネッサンス推進委員会では「どんど焼き」を、1月10日行いました。

竹で組まれた櫓(高さ約20m)に、古いお札やしめ縄、ダルマなどを入れて燃やし、その炎で、米の粉を丸く練ったものを木の枝に付けた「繭玉」を焼いて食べるという、小正月の伝統行事です。



「繭玉」を焼きます



文化協会文芸部選

短歌



古稀(こき)過ぎて心(こゝろ)円(まど)かある日々を三
面記事(さんめんじ)に腹(はら)たてている 黒尾 壮

内面(うちづら)の悪(わる)き伴(せがれ)も子(こ)をもてば親(おや)らしくなる帰省(きせい)のたびに 角田 節子

つり竿(つりざお)をかついで帰(かえ)る少年(せうねん)のバケツ(くわ)に小(こ)さき魚(い)泳(う)げり 首篠(うぶささ)登志子

賀状(がじょう)のみの付(つ)きあいなりしが便(べん)りなく故郷(ふるさと)の友(とも)如何(いか)になりしや 轟(とろろ) ノリ

俳句

立春(りっしゅん)や仔猫(こねこ)にもある反抗(はんかう)期(き)

かじかみし児(こ)の手(て)両(りょう)掌(て)に包(つつ)み込む 伊沢 克明

日記帳(にっぴ)一行(いっぺい)のみの三(さん)ヶ日(か) 高山(たかやま)香代子

いとけなき唇(くちびる)に紅(べに)初鏡(はつかがみ) 高田 昭夫

山木(やまぎ)八重子

土砂等の埋立て等の規制に関する 県の条例が施行されます

1. 土壌の汚染と災害発生の防止を目的とした条例です

有害物質が混入した土砂等の埋立て、盛土、たい積（埋立て等）による土壌汚染や、無秩序な埋立て等による崩落等の災害の発生を未然に防止し、皆様の生活の安全と生活環境の保全を図ることを目的とした『土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例』が、4月1日から施行されます。

2. 土砂等の埋立て等には許可が必要になります

- (1) 土壌の汚染を生じさせるような埋立て等はすべて禁止されます。
- (2) 土砂等を埋め立てようとする区域以外の場所から土砂等を搬入して面積3,000㎡以上の埋立て等の事業を行う場合は、県の許可が必要になります。
- (3) (2)の埋立て等の事業を行う場合は、埋立て等に使用される土砂等の安全基準（土壌の

汚染を防止するため）や、埋立て等の構造基準（崩落等の災害防止のため）に適合する必要があります。

- (4) 面積3,000㎡以上の、無許可の土砂等の埋立てなどの、条例に反する行為に対しては、最高1年以下の懲役若しくは100万円以下の罰金が科せられます。

3. 不適正な埋立て等を防止して住みよい環境を守りましょう

一度汚染された土地を元の状態に回復するには、多大な経費と時間がかかります。また、土砂等の崩落により災害が発生した場合には、貴重な人命が危険にさらされます。

この条例の目的の達成には、一人ひとりが自分の土地は自分で管理するという自覚を持つことが大切です。住みよい環境を守るため、ご協力をお願いいたします。

問合せ先

県生活環境部環境整備課
☎028-623-3227

歳末たすけあい運動 ご協力 ありがとうございました

歳末たすけあい運動にご協力いただき、誠にありがとうございました。集まった募金は、民生委員の皆さん等を通じて、要援護の家庭やひとり暮らしのお年寄りなどへお届けいたしました。

総額 1,630,831円
内訳

- 自治会募金 1,303,380円
- 預金利息 226円
- 篤志募金 327,225円
(敬称略・受付順)
- ・壬生郷友会 69,397円
- ・壬生の灸 2,132円
- ・書道弥生支部 3,000円
- ・気功とダンスを楽しむ会 5,000円
- ・稲葉小学校 16,487円
- ・壬生小学校 11,518円
- ・ガールスカウト栃木県第18団 100,000円
- ・安塚小学校 11,350円
- ・小谷野芳子 3,753円
- ・壬生中学校 40,000円
- ・(株)ケイ・エル・エス 14,588円
- ・獨協医科大学病院看護部 50,000円

壬生町婦人会では 会員を募集しています

交通安全団体や、日本赤十字奉仕団員として、地域のために幅広く活動している壬生町婦人会（田中ミヨ会長）では、会員を募集しています。



会員相互の親睦を深めるイベントも行なっています。(写真は昨年11月に行われた運動会)

加入希望・お問い合わせは、田中ミヨ会長（☎82-0144）まで。

寄付

(社会福祉協議会)

(○数字は寄付回数)

- a.m. p.m 壬生本丸店様 ⑯ 金3千828円
- 近藤さみ子様 ② 金2万円
- 岩田幸子様 ① 金5万円
- (有)渡辺寝装様 ④ 金3千円
- 匿名 ② 金5千円
- 桑川守久様 ① 金1万円

3月の納税等

●国民年金(3月分)

(納期限3月30日)

納期限間際は、納付窓口が大変込み合います。早めに納付しましょう。

まちなうごき

12月1日現在

総人口	39,989人	(-17)
男	19,736人	(-13)
女	20,253人	(-4)
世帯数	12,818世帯	(+14)
	()内は前月比	